

【音楽】

～ClassPad.net のリンクふせん・同時編集機能を活用する～

クラシック音楽の多様な楽しみ方を考える授業
楽曲に登場する楽器の役割と、音楽の感じ方を考える。

【本授業の目的・狙い・到達目標】

教師向けの目標：クラシック音楽に親しみを持たせ、鑑賞の多様な視点(構造・感性)を育てる。

生徒向けの目標：オーケストラで用いられる主な楽器を知る。音楽を鑑賞し、自分なりの感じ方・感想を持ち、クラシック音楽の楽しさを体験する。

【ClassPad.net 活用によるメリット】

- ・授業準備の時短／効率化：事前にリンクふせんを用意することで、授業内で扱う楽曲をすぐに生徒に聴かせることができる。
- ・協働学習促進：ふせんの同時編集機能を利用することで、手軽に協働学習に取り組んでもらうことができる。
- ・個別最適学習の促進：授業内で扱えなかった楽曲についても、リンクふせんを共有することで生徒が自宅で鑑賞することができる。

授業の流れ

ClassPad.net での操作

step1

<今日の授業>

- ♪ オーケストラについて学ぼう！
- ♪ どんな楽器が使われているのか知ろう！
- ♪ 楽器の音色や役割を知ろう！

概要の説明

オーケストラが演奏するクラシック音楽をテーマに、楽器の役割や音色を学ぶことを伝える。

step2

<鑑賞>

- ♪ 実際のオーケストラの演奏を鑑賞しよう！



楽曲の鑑賞

実際の演奏映像付きのクラシック音楽を鑑賞する。曲目は、サン＝サーンス「動物の謝肉祭」より、フィナーレ。楽器と、それを演奏する人の動きを視覚的に捉えやすくするため、映像を用いる。

YouTube 動画「Camille Saint-Saëns: Der Karneval der Tiere - XIV. FINALE」の URL

(<https://youtu.be/BrEcKWsx8q4?list=RDBrEcKWsx8q4>) を貼り付けたリンクふせんを用意しておき、プロジェクターなどで投影しながら演奏を鑑賞する

step3

Question

動画でどのような楽器が使われていたかな？
近くの人と確認してみよう！

♪印象に残る楽器・特徴的な楽器について、いくつか紹介していきます！

オーケストラの楽器の紹介

どんな楽器が使われていたか、生徒に問いかけながら楽器を取り上げる。そのうち特に特徴的だったものを、楽器の音色とともに紹介する。

ピアノの音色紹介は、音楽室にあるものを実際に弾いて聴かせる。

音色を紹介した楽器を、step5のグループワークで振り分ける。

たとえば以下のようなリンクふせんを使用し、YouTubeで楽器の音色を確認する。

「clarinet polka | クラリネット・ポルカ」

(<https://youtu.be/dMHiLjIuPwI>)

「Yamaha Glockenspiel YG-1210」

(<https://youtu.be/d4vmv1ne6Ns>)

これらは、電子黒板等に映しながら、大きめの音量で聴かせる。また、このリンクふせんは授業支援機能で生徒に配布する。

step4

<楽曲解説>

♪『動物の園肉祭』(Le carnaval des animaux)

作曲者：カミーユ・サン＝サーンス
(1835～1921、フランス)

構成：いろいろな動物の名前が付けられた、
全14曲からなる組曲

特徴：曲中に、他の作曲家による作品のフレーズが用いられていたり、一部の曲に皮肉的な意味が込められていたり、ユーモアに富んだ作品。

先ほど鑑賞したのは全14の組曲の最後を飾る「フィナーレ (FINALE)」。
それ以外の代表的な楽曲も、自宅などで鑑賞しておきましょう。

【出典】
DrGrDo
Camille Saint-Saëns - La danse macabre



楽曲解説

step2で取り上げた楽曲について解説する。また、フィナーレ以外の代表的な楽曲についても簡単に触れ、生徒が個人で聴けるようにリンクふせんで共有する。

テキストふせんを使用し、楽曲解説を行う。

フィナーレ以外の代表的な楽曲については、以下のYouTube動画のURLを貼り付けたリンクふせんを用意し、授業支援機能で生徒に配布する。

「Camille Saint-Saëns - La danse macabre」

(<https://youtu.be/71fZhMXlGT4>)

「Saint-Saens:Symphony No.3 in C-minor Op.78 - Cond:Ryusuke Numajiri サン＝サーンス 交響曲第3番ハ短調 Op.78「オルガン付き」」

(https://youtu.be/Lh7BfD9_SPs)

step5

<グループワーク>

- ・5人程度のグループに分かれます。
- ・各グループに担当楽器を割り当てます。
- ・担当になった楽器について、先ほど配布したリンクふせんを確認しながら、以下の点について考察してみましょう。

- ①楽器が曲の中で果たしている役割
- ②楽器がどんな動物を表しているか

※「ネットで調べる」は禁止です！

グループワーク

クラスを5人程度のグループに分け、それぞれに異なる楽器を振り分ける。振り分けられた楽器について、step3で配布したリンクふせんを確認しながら、以下の観点で考察させる。

- ・楽器が曲の中で果たしている役割
 - ・楽器がどんな動物を表しているか
- これらをワークシートに記入させ、グループごとに提出してもらう。

テキストふせんに作成した簡単なワークシートを、授業支援機能を用いてグループの代表者に配布する。代表者に配布されたふせんに同時編集機能を用いてグループの考察結果を記入させ、教員に提出してもらう。こちらは添削して返却するとよい。

step6

<発表>

- ・グループごとに、先ほどのグループワークにおける考察結果を発表してもらいます。

- ・各グループの代表者は、自分の端末を持って前に出て、電子黒板につないでワークシートを見せながら発表しましょう。

発表

各グループが楽器について考察した内容を簡単に発表してもらい、全体での共有を通じてオーケストラの構成に対する理解を深める。

各グループの代表となった生徒には、端末を電子黒板やプロジェクターにつないでもらい、前に出てstep5で作成したワークシートを投影しながら発表してもらう。

step7

<まとめ>
♪『動物の謝肉祭』
第9曲「森の奥のカッコウ」では、クラリ
ネットがカッコウの鳴き声を表している...
...という"知識"は芸術を深く知る上で役に立つ
↑
一方で、「自分には●●に聞こえた」という
"感性"も大切にしましょう！

まとめ

楽器の役割を考えるを通して、オー
ケストラや音楽の構成に目を向けられた
ことを確認する。そして、考察したこと
や知識を大切にするとともに、「自分
にはこう聞こえた」という感性を大切に
し、その自由さこそが音楽を聴く楽しさ
であると話して授業を締めくくる。

step8

このふせんのリンク先で、『動物の謝肉祭』を全
曲視聴できます。
本日の授業を振り返るという意味でも、ぜひ視
聴してみてください！

【出典】
Akademia Filmu i Telewizji
Camille Saint-Saëns - Le Carnaval des
animaux, The Carnival Of The Animals
©

参考・補足

動物の謝肉祭（全曲）の演奏を聴くこ
とができる YouTube 動画をリンクふせん
で共有し、視聴を促す。

YouTube 動画「Camille Saint-Saëns
- Le Carnaval des animaux, The
Carnival Of The Animals」
(<https://youtu.be/zwe4k6HaiYo>)
の URL を貼り付けたリンクふせんを
用意しておき、授業支援機能で生徒
に配布する。